

土木学会 複合構造委員会 第2回委員会 議事録(案)

1. 日時:平成18年1月26日(木) 15:00~17:30
2. 場所:土木学会講堂
3. 出席者:園田顧問、三浦顧問、上田委員長、中島副委員長、大垣幹事長、緒方委員、河野委員、熊谷委員、小林(朗)委員、小林(洋)委員、佐々木委員、佐野委員、島委員、滝本委員、橘委員、長沼委員、野村委員、三ツ木委員、向山委員、山田委員、吉田委員、伊藤委員、中村委員、古市委員、渡辺委員、池田幹事、本間幹事、山口幹事、川島事務局員(計29名)
4. 配付資料
 - 資料2-1-1 土木学会 復号構造委員会 第1回委員会 議事録(案)
 - 資料2-1-2 土木学会 複合構造委員会 第2回幹事会 議事録
 - 資料2-1-3 土木学会 複合構造委員会 第3回幹事会 議事録
 - 資料2-1-4 土木学会 複合構造委員会 第4回幹事会 議事録
 - 資料2-1-5 土木学会 複合構造委員会 第5回幹事会 議事録(案)
 - 資料2-2-1 複合構造委員会運営細則(案)
 - 資料2-2-2 複合構造委員会委員長候補者選考細則(案)
 - 資料2-2-3 複合構造委員会による土木学会各賞等の候補推薦細則(案)
 - 資料2-3-1 複合構造物の性能照査指針小委員会 活動報告 2006.1.26
 - 資料2-3-2 土木学会複合構造委員会 小委員会活動報告(複合構造現況調査小委員会)
 - 資料2-3-3 土木学会複合構造委員会 小委員会活動報告(維持管理小委員会)
 - 資料2-3-4 複合構造委員会新材料による複合技術小委員会議事録(案)
 - 資料2-4-1 第6回複合構造の活用に関するシンポジウム
 - 資料2-4-2 土木学会 委員会論文集の満たすべき基準
 - 資料2-5 複合構造物の性能照査指針(案)に基づく照査例の講習会
 - 資料2-6 平成18年度ジョイントセミナー申請書
 - 資料2-7 要求性能の区分と定義
 - 資料2-8 土木学会 複合構造委員会 年次学術講演会 研究討論会テーマ案
 - 資料2-9 土木学会複合構造委員会・建築学会鋼コンクリート合成構造運営委員会交流会議事メモ(案)
 - 資料2-10 複合構造委員会 ホームページ資料

5. 議事内容

(1) 委員長挨拶

上田委員長より、シンポジウムの成功など複合構造委員会の順調な立ち上がりが紹介されるとともに、講習会など今後の活動への協力の要請がなされた。

(2) 第1回議事録確認

大垣幹事長より前回議事録(資料2-1-1)が読み上げられ、確認を行った。2ページ下から2行目、「複合構造の調査・・・」「複合構造の現状調査・・・」の修正が指摘された。また、資料2-1-2～資料2-1-5の幹事会議事録については、参照資料として紹介された。

(3) 複合構造委員会内規について

前回の委員会で「内規」が承認されている。内規はベーシックな規則を定めたものであり、今回は、委員会の運営に必要な取り決めとして3つの「細則」(資料2-2-1～資料2-2-3)の案が紹介され、審議された。議論の結果、以下のような修正を行うことで承認された。

複合構造委員会運営細則

- 1)第3条の「成果の公表」については、3年という具体的な表現はやめる。
- 2)常設小委員会に、「選挙管理小委員会」と「推薦選考小委員会」を加える。
- 3)第1条の中で、「委員長候補者」を「委員長」とする。また、(4)顧問と(5)委員長の順番を入れ替える。

複合構造委員会委員長候補者選考細則

- 1)選挙管理部会を選挙管理小委員会として、常設小委員会の中に位置づける。

複合構造委員会による土木学会各賞等の候補推薦細則

- 1)推薦選考小委員会を常設小委員会の中に位置づける。

(4) 研究小委員会活動報告(資料2-3-1～資料2-3-4)

小委員会活動に関して、報告が行われた。

複合構造物の性能照査指針小委員会

中村小委員会委員長より、資料2-3-1に基づいて活動状況が報告された。「材料視点でなく構造視点から」という表現について質問があり、「材料にとらわれなくて複合構造の構造面を重視していきたい」という趣旨の説明があった。

複合構造現状調査小委員会

伊藤小委員会委員長より、資料2-3-2に基づいて活動状況が報告された。特に質疑はなかった。

維持管理小委員会

杉浦小委員会委員長が欠席のため、大垣幹事長より、資料2-3-3に基づいて活動状況が紹介された。以下のような議論があった。

- 1)資料2-3-3の「課題など」に「複合構造物の劣化(特に結合部)を許容するのか」ということが書かれているが、どういうことか?
結合部の劣化をモニターして健全性を判断が出来ないかということを議論しており、結合部が劣化してよいということではない。
- 2)複合構造は歴史が浅いので、現状で劣化していないからと言って「劣化しない構造」と判断するような誤りがないようにしてほしい。

補修の結果として複合化したものには既に長期間経っているものがあり、それらを含めて今後調査をしていきたい。

3)維持管理は管理側の姿勢が重要である。国土交通省でも調査を進めていると聞く。管理側の委員として、土研などの委員を追加されるように検討して欲しい。

新材料による複合技術小委員会

上田小委員会委員長より、資料 2-3-4 に基づいて活動状況が報告された。委員会は 1 回開かれたところであるが、幹事長が未定であり希望者の申し入れを受けたいとのこと。また、複合構造として対象とする新材料の範囲（構造機能を考慮するが出来るだけ広くしたい）について、各委員からいろいろ紹介してもらっている段階で、今後、絞り込んでいきたい旨が述べられた。さらに革新的構造材料の活用検討委員会の活動を引き継ぐことが小委員会です承された。また、活動成果に特許が関連してくるので、その取り決めが必要とのことであった。他に、古市委員の小委員会メンバーへの追加が紹介された。

(5) シンポジウム報告、今後のあり方について

古市委員より、資料 2-4-1 に基づいて第 6 回複合構造の活用に関するシンポジウムに関する実績報告がされた。黒字分については、今年度内に限り委員会で活用できるということであった。

また、次回シンポジウムに向けて、今後の準備の中で予定している展開事項が紹介された。査読付き論文の導入を図ろうとしているが、その背景となっている学会の論文集に対する基準（資料 2-4-2）が紹介された。

(6) 複合構造物の性能照査例出版と講習会について

渡辺委員より、資料 2-5 に基づいて「複合構造物の性能照査指針(案)に基づく照査例の講習会」(1/31) の紹介があった。東京の次は、大阪（6/16）と札幌（7/7）での開催が予定されている。

(7) 複合構造物の性能照査指針（英文）出版について

性能照査指針の英文出版の進捗に関して、上田委員長より報告された。現在、原稿の最終チェック中であり（原稿を回覧）今年度中に出版の見込みであると述べられた。また、英文版出版を機に大韓土木学会とのジョイントセミナーを開催すべく助成の申請を行ったことが報告された（資料 2-6）。

(8) 性能照査指針用語の統一について

性能照査型設計において、要求性能の整理（定義）は重要であり、コンクリート委員会および鋼構造委員会とも共通的なものにすることが望ましい。しかしながら、各委員会がそれぞれ異なった整理の仕方をしているのが現状であり、その比較をした「要求性能の区分と定義」（資料 2-7）が、性能照査指針小委員会幹事長の渡辺委員より紹介された。複合委員会としては、各委員会に呼びかけを行って、統一を図りたいとの考えを提示している。構造物が違うと統一するのは難しいのではという意見が出された。まずは違いがあることの認識が必要ということで討議を終えた。

(9) 年次講演会研究討論会について

大垣幹事長より、18年度年次講演会での研究討論会へのテーマ提案として2案が紹介された(資料2-8)。案1「社会資本整備の意義 - 複合構造の今後 - 」の方については、テーマが大き過ぎるとの意見もあり、案2「インフラ構造物の維持管理 - 複合新技術の将来性 - 」の方向で企画を行うこととなった。

3月が申込期限であり、他に意見があれば2月上旬までに大垣幹事長に連絡するよう要請された。

(10) 建築学会との連携について

建築学会の鋼コンクリート合成構造運営委員会との交流会(H17年10月14日)の内容が、中島副委員長より資料2-9に基づいて紹介された。連絡委員の質問があり、互いの委員会への相互出席の意見があったが、連絡役はこれまで通り中島副委員長があたり、出来る範囲で前向きに交流を続けるということにされた。

(11) HPについて

山口幹事より、資料2-10に基づいて複合構造委員会のホームページの整備状況が紹介された。委員会の共通的部分はほぼ出来上がりつつあり、今後は、小委員会ページの充実が課題とのことであった。また、現状のアクセスカウント数は3,283件。

(12) 委員会予算について

大垣幹事長より予算について報告があった。今年度の委員会予算は52万円でこれまで20万円強執行している。小委員会の予定も確認しており、遠隔地委員への旅費支給が可能な情勢なので、支給希望があれば要望を提出して欲しい旨述べられた。

(13) 各協会、法人からの連絡

特になし。

(14) その他

- 1)土木学会の方から、重点研究の募集が予定されている。常置29研究委員会を対象で、採択されると1テーマあたりMax 100万円程度の助成が可能である。上田委員長より、よいテーマがあれば是非応募したいので、御意見をお願いしたとのことであった。
- 2)学会誌の5月号に複合構造委員会の紹介記事が掲載される予定であることが、大垣幹事長から説明がなされた。

以上

(伊藤 記)